

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：横浜そらいろ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：戸倉 綾子	定員（利用人数）：60名（60名）
所在地：〒220-0073 横浜市西区岡野2-8-3KMプラザ2F	
TEL：045-620-0451	
ホームページ：http://www.aozora-k.jp/sorairo-hoikuen/	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2019年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 あゆみ会	
職員数	常勤職員：16名 非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称） 名 栄養士 1名
	保育士 20名 調理師 2名
	子育て支援員 1名 事務員 1名
施設・設備の概要	（居室数）：保育室：6 一時保育室：1 事務室：1 調理室：1 相談室・医務室：1
	（設備等）トイレ：子ども大便器9 小便器5 大人3 園庭（小）

③理念・基本方針

<保育理念>

- ・子ども一人一人を大切にし、保護者からも信頼され、地域に愛される保育園を目指す

<保育方針>

- ・豊かな人間性を持った子どもを育成する
- ・心と身体の自立を促す保育

<保育目標>

- ・心身ともに豊かな子供
- ・たくましい身体作り
- ・思いやりのある子ども
- ・意欲をもつ子ども
- ・自分で考えて行動できる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

・幼児クラスになるとプランターで夏野菜を育て生長していく様子を観察し、収穫した際には 調理してもらいおいしく食べている。

・テニス教室では柔軟体操やストレッチで体幹を鍛えたり、実際にラケットを振ることで運動能力・集中力・持続力を高める。

- ・英語であそぼうではカードや身体を使って楽しく英語に興味を持ち異文化に触れる機会を持つ。
- ・戸外遊びの機会を多く持ち自然に触れ親しむ。
- ・夏には水遊びや、家ではなかなか出来ないボディペインティングなどをして楽しむ。
- ・図書の貸し出しをして本に親子で親しんでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年5月13日（契約日） ～ 令和3年11月24日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	- 回（ - 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)子どもの自主性、主体性を大切にされた保育を実践しています
一斉保育ではなく、子ども一人ひとりの興味やペースに合わせて、保育が実践されています。その日の朝に午前中の活動は、公園に行きたい子ども、園で遊んでいたい子どもと職員が子ども一人ひとりの意向に耳を傾けます。日々の遊びの展開は子どもの興味や発想から生まれています。コロナ禍で中止となった運動会の代わりに室内で行う「運動会ごっこ」、廃材で作る恐竜ハウス、ファッションショー等、子どもの発想からやりたい気持ちを大切に保育を行っています。指導計画の内容にも子どもの自主性、主体性が反映されています。

2)保護者に子どもの様子をわかりやすく伝える工夫をしています
各保育室の入り口には、毎日クラスごとにその日の様子を写真と言葉で表したドキュメンテーションを掲示し、園での子どもの活動を「見える化」しています。保護者はドキュメンテーションを通して子どもの成長を感じられ、園や保育方針の理解が深まっています。親子遠足や運動会、生活発表会など保護者が参加する行事を開催し、子どもの成長を確認する機会を設けていますが、今年度は運動会が開催できなかったため、子どもの発案で、「運動会ごっこ」を行い、その様子をDVDに収め、保護者に配付して喜ばれています。

3)全職員が連携を密にし、保育に取り組んでいます
職種に関わらず、全職員が連携を取り、業務内容や課題について、常に問題意識を持って話し合い、より良い保育の実現を目指して取り組んでいます。職員同士で声を掛け合ったり、お互いに相談し合っています。また園長、主任の助言も得ています。職員間のコミュニケーションがよくとれており、行事や日々の保育について、前向きで活発な意見交換が行われています。園長は職員のやりたい気持ちを受け止め、奨励しています。

◇改善を求められる点

1) 園独自の中・長期計画と事業計画の策定
園の地域性、特徴などを含め、園の進むべき方向性を明確にするため、中・長期的な視野に立った計画の策定が期待されます。さらに中・長期計画の内容を反映した、単年度で実施すべき事項を盛り込んだ事業計画を策定し、定められた時期、手順にもとづいて事業計画の進捗状況を職員会議などで話し合い、定期的、継続的な進捗状況確認の機会

を持つことが期待されます。

2)マニュアル類のさらなる整備

開園3年目ということもあり、園長以下職員全員で話し合いを重ねながら園の運営にあたっています。法人が一括して作成すべき基本となるマニュアル類の不足が見られます。法人としての保育の基本方針や手順、職員育成等の全職員が知っておくべき統一のマニュアル作成が期待されます。園として、統一した保育実践に向けて、マニュアルの整備が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度第三者評価を受けるにあたり、職種を超えて全職員で何度も話し合いをしました。今後のより質の高い保育を実践すべく保育園としての在り方を再確認することが出来ました。

私共保育園の良い点、改善すべき点が明らかになったことで、3年目の今法人と一つになり、中・長期計画を策定しつつ園の事業計画に生かしていきたいと思えます。

これからも保護者の方が安心してお子さまを預けられ、子どもたちの自己肯定感が高められる保育園を目指していきたいと思えます。 ありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり